

心臓を養うために送られてくる動脈血の量が少なくなります。動脈血の運んで来る物質の中で最も大切なものは酸素ですが、動脈硬化が起きて、その中を流れる血液の量が減ると、運ばれて来る酸素の量も、それに応じて減ってきますつまり心臓が酸素欠乏の状態になるのです。心臓が正しく活動するためには、十分な酸素が送られなければなりません。したがって、酸素欠乏の状態になると、心臓の活動が鈍り、狭心症と呼ばれている痛みが現われます。さらに欠乏状態が進行すると、心臓の筋肉の一部が壊死に陥り、心筋硬塞という状態となり、ついには心臓が全く活動しなくなり、死亡してしまいます。

心筋硬塞症は寒い時期の発生率が多い様です。寒い、つめたいものが心臓にどの様に影響があるかが問題となりますが、以前に郡部の歯科医さんが、日曜日に薪割り作業をして、つめたいジュースを飲んだところ、突然苦しみ一昼夜後に死亡しました。別段毒ジュースでもなく心筋硬塞症であつたのです。梅題のビールはどうかと言う事ですが、絶対とは言わないが、余りその例がない様です。左様申したところで、「心と体もあたたかく」身体に就いてはお互いに注意して暮したいものと存じます。

△ △  
国際ロータリー第350地区インターアクト年次大会

日時 昭和42年11月26日(日)  
場所 札幌市民会館

◎ インターアクトクラブはロータリークラブの一つの青年奉仕活動計画であります。

これらの青年が世界への窓を  
より広く開くため

一その御理解と御協力を賜りたい。

才350地区ガバナー 小畑 信 愛

△一週一言

インターアクト(Interact)

ロータリーの理想と同じ精神を以つて集る高校生のクラブである。1960年Thomas会長時代から特別委員会を設けその具体策を審議して来た結果1962年Laharry会長の時代にその実を結び実施されたものである。各ロータリークラブがスポンサーとなりその指導、協力の下に運営される。日本には141のクラブと4262名の会員がある。

The Weekly Report of Hakodate North R.C



91号  
38-11-22  
クラブ

第175回例会

例会場 函館拓銀ビル  
例会日 毎週水曜日  
12.30~13.30

本日のプログラム

「血液の話」 函館赤十字血液センター 浜西栄一氏

- 司会 俣野会長 斉唱 我等の生業
- ゲスト 川崎八重氏(函館市会議員)
- ビジター 高津政三君(浦河 沖合漁業)  
大鎌又一君外13名(函館) 島田敬君外9名(函館東)

会長挨拶

1. 急に寒くなつて参りましたので会員の皆さん、御体に気をつけてください。
2. 未統元会員より遠藤会員に便りがあり、現在サハラ砂漠で唯一の日本人として仕事に従事の由、好漢の御健闘を祈ります。

出席報告

1. 本日の状況 会員数36名 出席28名 欠席8名
2. 前回確定率 会員数36名 出席28名 欠席8名  
他クラブ出席8名 出席率100%
3. 他クラブ状況 未達

卓話 「今日の話題」 川崎八重氏

業隠に「武士道とは死ぬことと見つけたり」とあるが、斯様な一片の語句で、整然と思想統一が出来得た世代とことなり、最近の如く雑然とした複雑な要素が織りこんで参りますと、単純に一辺倒の考え方は誠に困難で、私なぞは特に最近沈黙の時間が多くなりました。然しながら単に黙することが、社会の向上に寄与する訳でもないと自覚し、この複雑な世代のなかに社会性を持つ倫理感を求めて生きる事が肝要であると考えて居ります。

私は永年「更生婦人会」の会長を致して居ります。(欠席裁判で会長でした)この会は受刑者の更生について、多少役に立てばとの趣旨で結成され、会員数120名、年間会費200円と言う小規模な会であります。然しながら私は一切の寄附を貰わず、この僅少の予算を有効に生かしたいと考えて、一部を保護

鑑別所に「愛の金庫」と名づけて預託し受刑者が満期になつて、金で困つた時書類もハンも不要で、「この金を自由に更生のため、つかいなさい」と利用させて居ります。又、刑務所前の花壇の手入、本の差入等をささやかながら、継続して行なつて居ります。最近この婦人会が表彰の対象になつて居りますが、表彰よりも、つましく永く続けて行きたいものと存じます。

最近首相渡米に対する学生の阻止運動、ベトナム反戦を唱えて焼死自殺等の色々の事が続出して居りますが、今こそ現実の場に於いて、理想と行動の統一を図り社会性に立つた倫理感こそ必要であり、求道すべきだと断ずるのは私一人の偏見でありましょうか。

第350区	9月出席率	平均出席率	92.99%
順位	クラブ名	出席率	
1位	網走	100%	
1位	遠軽	100%	
1位	北見東	100%	
1位	帯広北	100%	
23位	函館北	96.50%	
26位	函館	96.09%	
37位	函館東	93.25%	

※ ロータリーの友 11月号より

「聞く」と言うこと 抜すい 函館R.C 四倉太郎

例会には卓話があり、最近のめざましい会員数の増加にともなつて、卓話を聞く会員の態度が折にふれて問題となる。いや、会員だけの問題につきない、それは大きな個人的、社会的な意義を含んでいると思う。

私は時折「上手に話すにはどうしたらよいか」と尋ねられるが、その答は「上手な人の話を聞いて学ぶ事は、誰でも知つているが、下手な人の話を聞いて、退屈であつても我慢して最後まで聞いて、そういう話し方を自分がしなければよい。私ならば後の場合によつて学ぶことが多い」と。

あわただしい現実社会なればこそ、ジツクリ聞いて、よりよき人間形成に役立たせたいものである。そして、それを支えるものは、人生の永遠の哲学「我慢」であろう。



1967年11月29日  
函館北ロータリークラブ

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第176回例会

例会場 函館拓銀ビル  
例会日 毎週水曜日  
1230~1330

ロータリアンとしての

あなたの資格を 効果的に

ルーサー・H・ホツジス会長

- ※ 司 会 俣野会長 ※ 斉 唱 我等の生業
- ※ ゲスト 金子友一氏 (函館赤十字血液センター)
- ※ ビジター 勝木鉄雄君外6名 (函館) 大鎌政雄君外10名 (函館東)
- ※ 遠藤出席委員長

去る9月を出席率100%達成月間と致しましたところ、会員各位の御協力に依り96.5%と言う素晴らしい成績をあげました。来る12月は第2回目の運動月間であり、年末の多忙時ではありますが、是非メーカー等々の利用により達成致したいと存じますのでご協力願います。

- ※ 市川親睦委員長
- クリスマス家族会、年末懇親会打合せのため、本夕委員会を行ないます。

※ 出席報告

1. 本日の状況 会員36名 出席30名 欠席6名
2. 前回確定率 会員36名 出席28名 欠席8名  
他クラブ出席4名 出席合計32名 88.89%
3. 他クラブ状況 函館R.C休会 函館東96.05%

※ 卓 話 「血液の話」 函館血液センター 金子友一氏

『献血手帳なくば輸血を要する入院は出来ない』と言うのは誇張した表現であります。それ程、現在の輸血状況は献血なくして存在しない実情であります。昭和26年売血の歴史から始まる血液銀行(株式)が設立し、東京、大阪の人の売血で全国需要年高8000本を確保した訳ですが、昭和38年には、300万本の需要となり、不適格なる売血除外数字を加算すれば膨大なる血液が不足し、献血が重要な比重を占めるに至りました。

献血とは、お互に血液をだしあい、輸血の必要な患者の「いのち」を守る